

♣グリーン電力出資金出資者
♣グリーンコープでんき利用者 の皆様

グリーンコープでんき通信 VOL.50



2021年12月20日発行
一般社団法人グリーンコープでんき

2021年
10月9日
オンライン会議
報告

水俣・熊本みらい基金

～第2期(2020年度)助成団体の活動報告と、
第3期(2021年度)の助成について、確認しました～

公害の原点である水俣病事件を未来に語り継いでいくことと熊本地震の復興を目的に、“自然エネルギーの光をあつめて”をキャッチフレーズに、2019年4月に「水俣・熊本みらい基金」(つんなう基金)が設立しました。その原資は、全国ご当地エネルギー協会が運営する「水俣薄原太陽光発電所」(約2メガ)と熊本地震からの復興のために(一社)グリーンコープでんきがつくった「グリーン未来ソーラー」(GCくまもとエリア内に10カ所)の売電収益の一部が充てられています。

第2期は、新型コロナの影響を鑑み、新規の募集は行わず、第1期からの継続団体11件への助成と熊本南部豪雨災害支援として3団体へ寄付をしました。その報告書は「つんなう基金」のホームページにアップする予定です。

第3期の助成については、第2期の助成団体への聞き取りを行い、継続的な活動を行っている10団体と新規2団体、合計12団体へ助成することを確認しました。

なお、水俣薄原太陽光発電所と「グリーン未来ソーラー」は、九州電力の出力制御の対象となっています。その制御が年々増加しており、その分の収益が減少、ともなって、「基金」の原資にも影響してきているのが実状です。その旨、助成団体の皆さんにも報告・共有しています。

2020年度第2期助成団体

- ♣ NPO植物資源の力
 - ♣ フォトグラフィーミッション水俣
 - ♣ TOHCH(トーチ)
 - ♣ (一社)環不知火プランニング
 - ♣ 水俣病事件資料編集委員会
 - ♣ (一社)水俣病センター相思社
 - ♣ NPO法人みるくらぶ
 - ♣ おひさまカフェ
 - ♣ すがるの里
 - ♣ 南阿蘇復興センター
 - ♣ NPO法人にしはらたんぼぼハウス
- <豪雨災害支援>
人吉コミュニティにじのおと
人吉球磨 YouthPower
グリーンコープ
- ※豪雨災害支援は単年度のみです。

【2021年度第3期助成団体

- ♣ NPO植物資源の力
- ♣ フォトグラフィーミッション水俣
- ♣ TOHCH(トーチ)
- ♣ (一社)環不知火プランニング
- ♣ 水俣病事件資料編集委員会
- ♣ (一社)水俣病センター相思社
- ♣ 水銀に関する水俣条約推進ネットワーク
- ♣ 一般社団法人きぼう・みらい・みなまた(新規)
- ♣ 自然とくらし研究会(新規)
- ♣ NPO法人みるくらぶ
- ♣ おひさまカフェ
- ♣ すがるの里



2021年度の助成について

・「南阿蘇復興センター」と「にしはらたんぼぼハウス」は、コロナ禍で予定していた活動が思うようにできなかったため、第3期の申請はしないとの判断をされました。

・水銀に関する水俣条約推進ネットワークは、2019年に続き、2022年の世界大会への患者派遣のための助成申請をされました。

ちゃんと発電してる？
気になる発電所の報告です

大事に見守っていききたい 地域に寄り添ってつくった自然エネルギー発電所の今の様子



現在、グリーンコープでは、22カ所に大小さまざまな発電所が稼働しています。ただ、発電はしているものの、自然エネルギーを活用していることから、思わぬ支障が発生している発電所もあります。そのいくつかの発電所の現状について報告します。

あわせて、現状は九州エリアに限定して行われている出力制御（電力需給バランスや送電線の容量に伴って発電量の制限を行う仕組みで、主に太陽光などの変動型発電への制御が問題となっている）について、ご紹介します。



霧島太陽光発電所

2021年3月末に発電を開始した霧島太陽光発電所。その後、梅雨期の豪雨に続き、秋にかごしま上空に数回襲来した線状降水帯による集中豪雨で発電所内や周辺の地盤が大きな損傷を受けました。パネルの架台はしっかりしており、太陽の光を受けて順調に発電しています。

修復作業の様子については、本誌48号で進捗を報告しています。作業は継続しており、その後の様子について紹介します。

- 定格出力・・・1684kW（低圧(50kW未満)・23区画）
- 買取価格・・・36円(税抜) □パネル数・・・5520枚



敷地内にある発電所を
アピールする看板



*補修中の霧島太陽光発電所周辺（主な箇所）



2回の豪雨の影響を受けて決壊した発電所内の法面の補修が完了！むき出しだった排水管を地中に埋設。



沈砂池に続く道に亀裂が生じ、通行ができなくなったため、現在補修中。



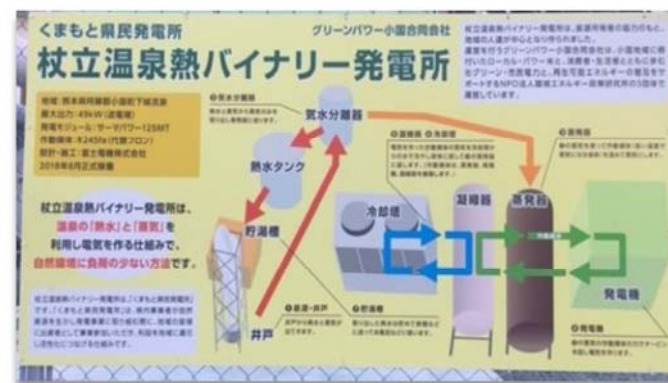
沈砂池に溜った大量の土砂のかき出し作業中。

杖立温泉熱 バイナリー発電所

自然エネルギーの中で安定して発電するとされる地熱、その中で温泉の熱源を活用したバイナリー発電は、今、注目を集めています。そうした中で、グリーンコープでんきは、熊本県小国町のローカル・パワー（株）と環境エネルギー政策研究所と共にグリーンパワー小国合同会社を設立し、2018年10月から杖立温泉熱バイナリー発電所を運営しています。

バイナリー発電とは、100℃くらいの泉源の熱水と蒸気を、水より沸点の低い冷媒によって熱交換することでより効率的に蒸気を発生させ、その蒸気でタービンを回して発電するという仕組みです。杖立の場合は、蒸気のみを利用するシステムとなっています。

本来、安定して発電するはずですが、この間、停止や低出力を繰り返しています。現在メーカーに相談し、原因を追求しているところです。地球の恩恵を受けているものの、私たちは地中の状況をうかがい知ることはできません。そうした自然エネルギーと向き合いながら、この発電所が継続的に発電ができるように模索しているところです。



ながわ小水力発電所

ながわ小水力発電所（松本市）は、予定では2020年11月に竣工予定でしたが、試験運転の際、発電機が発火し、コイルの巻き直し等の大きな工程の修正がありました。あわせて、コロナ禍で水車メーカー（ブラジル）の技術者が来日できなくなるという状況にも重なりましたが、何とか稼働するところまでこぎつけました。現在稼働予定は、来年1月。なお、ながわ小水力発電所の電気は、グリーンコープでんきの電源となる予定です。

■ 出力抑制のあり方と、その問題点 ■

2012年7月から始まった再生可能エネルギー固定買取制度の施行で太陽光などの自然エネルギーの発電所が普及していきました。そのころ、「3.11」の福島第一原発事故によって日本の全ての原発がストップしていた中でも、電気の供給に支障はなく、とりわけ九州は太陽光の恩恵を受けたとされています。

その後、九州では2015年に川内原発1号機の再稼働を皮切りに現在は4基の原発が動いています。ともなう、発電量が需要を上回ってきたことで、2018年10月より出力制御が始まりました。

制御される順番は一旦決まっており、①火力の出力制御と揚水の活用 ②連系線による他地方への送電 ③バイオマスの出力制御 ④太陽光・風力など変動型の出力制御 ⑤ベースロード電源の出力制御 となっていますが、実状はそうではないようです。

一方、第6次エネルギー基本計画では、電源構成の割合が再エネは36～38%となっており、増やすべき対象であって抑制すべきではないはず。にもかかわらず、太陽光に対する制限は年々増えているという実状が浮き彫りになっています。

需給調整が難しい電力については、ある程度の出力制御は必要だと考えますが、今の制御の仕方には問題があるのではないのでしょうか。待たなしの地球温暖化対策として、再エネはとても有効な電源だと言えます。補償もなしに再エネの電気を捨ててしまっている実情を考えなおしてほしいものです。

■ グリーンコープでんき

- ・11月にグリーンコープでんきを供給した契約件数は、GC事業所、組合員契約件数、GC商品のお取引先も含め下表のとおりです。

生協名	GC事業所 契約件数	組合員 契約件数	契約容量 (kW)
しがまる生協	1	0	4
GC生協おおさか	8	57	275
GC生協ひょうご	9	34	177
GC生協とっとり	2	44	208
GC生協(島根)	1	95	405
GC生協おかやま	6	159	674
GC生協ひろしま	9	186	846
GCやまぐち生協	5	499	2,125
GC生協ふくおか	101	2,014	8,925
GC生協さが	17	116	690
GC生協(長崎)	11	232	1,167
GC生協くまもと	39	566	2,990
GC生協おおいた	15	312	1,352
GC生協みやざき	2	155	570
GCかごしま生協	12	213	951
単協計	237	4,682	21,355
(一社)グリーンコープでんき(低圧)	63		494
(一社)グリーンコープでんき(高圧)	64		4,974
総合計	364	4,682	26,823

■ 11月の電源構成

【関西電力エリア】

- ・敦賀グリーンパワー
(燃料: バイオマス)・・・97.8%
- ・家庭用太陽光発電・・・2.2%

【中国電力エリア】

- ・敦賀グリーンパワー
(燃料: バイオマス)・・・98.0%
- ・家庭用太陽光発電・・・2.0%

【九州電力エリア】

- ・敦賀グリーンパワー
(燃料: バイオマス)・・・97.0%
- ・家庭用太陽光発電・・・1.3%
- ・杖立温泉熱バイナリー・・・1.2%
- ・馬洗瀬小水力発電所・・・0.5%

※グリーンコープでんきは、電源となっている発電所をすべて特定しています。

※グリーンコープでんきの電源には、原発由来の電気は一切含まれていません。

COP26(国連気候変動枠組条約26回契約国会議)で決まったこと

2030年までを「決定的な10年間」とし、温室効果ガス排出削減を推進していくことが合意され、以下の2つのメッセージが出されました。

- ①産業革命前からの平均気温上昇を1.5℃に抑えるという目標に向かって世界が努力すること。
- ②①を達成するために、2022年度末までに2030年目標を再度見直し強化することを各国に要請する。

2030年までの私たちの過ごし方がとても大切だということです。グリーンコープでんきを利用することで、脱原発社会とカーボンニュートラルを実現しましょう、

■ 市民発電所

一社)グリーンコープでんきの各発電所の2021年10月・11月の実績です。

《発電・売電実績》

・発電量は前年実績比 94.5%でした。

・売電料は前年実績比 93.2%でした。

《出力制御について》

10月・11月の、出力制御指示日は神在太陽光発電所は7日、深年太陽光発電所はAが4日、Bが5日でした。(8:00~16:00)

2021年10月11月発電量

発電所	出力(kW)	発電量(kWh)	売電額(円)
神在太陽光発電所	1,057	165,230	6,609,200
平池水上太陽光発電所	1,260	232,679	8,376,456
深年太陽光発電所	1,550	299,174	10,770,267
若宮物流センター	47	7,648	275,331
広島物流センター	47	8,519	306,680
やまぐち西部地域本部	54	19,721	262,221
グリーン未来ソーラ(10箇所)	244	67,466	1,569,539
合計	4,259	800,437	28,169,694

・皆さんから出資いただいたグリーン電力出資金の総額(実際に振り込んでいただいた額)は、9億8,196万円になっています。

・出資目標額(積立目標額)は、11月25日現在で11億419万円になっています。

生協名	申込人数	申込件数	出資目標額
しがまる生協			
GC生協おおさか	195	220	16,570,000
GC生協ひょうご	86	100	7,656,000
GC生協とっとり	127	139	10,620,000
GC生協(島根)	231	243	10,980,000
GC生協おかやま	141	156	13,490,000
GC生協ひろしま	663	804	84,417,000
GCやまぐち生協	549	635	41,200,000
GC生協ふくおか	5,243	6,111	520,772,000
GC生協さが	309	352	44,025,000
GC生協(長崎)	560	625	56,539,000
GC生協くまもと	1,440	1,651	123,334,000
GC生協おおいた	756	845	68,418,000
GC生協みやざき	274	311	26,065,000
GCかごしま生協	701	809	80,111,000
合計	11,275	13,001	1,104,197,000

・グリーン電力出資金は、市民発電所の建設費に充てられています。

・2021年11月末支出総額は8億4,881万円で、残高は1億2,891万円となっています。

市民発電所の建設は継続して調査や検討をすすめています。

これまで出資いただいた金額	981,969,500
これまで支出した事業と金額	848,810,221
神在太陽光発電所、平池水上太陽光発電所、深年太陽光発電所、若宮物流センター、広島物流センター、やまぐち西部地域本部、グリーン未来ソーラ発電所、豊浦太陽光発電所、馬洗瀬小水力発電所、杖立温泉熱バイナリー発電所、ながわ小水力発電所(建設中)、霧島太陽光発電所、熊本菊池太陽光発電所、国東第二自然電力太陽光発電所	
グリーン電力出資金の残高	133,159,279